

## 鳥取県地震防災調査研究委員会の津波浸水想定部会の開催結果

河川課

平成16年度策定の地震被害想定及び平成23年度策定の県独自断層モデルによる津波浸水想定を最新のデータと知見に基づくものに見直すため、鳥取県地震防災調査研究委員会で検討しており、25日開催の部会での検討概要は次のとおりです。

### <津波想定部会での審議結果>

○国交省の断層モデル（鳥取沖断層、日本海東縁部）に県独自断層モデル（佐渡島北方沖）を加えて津波浸水想定を行った結果、過去の文献等による津波浸水範囲（境港市大港神社等）も概ね再現できたことから、浸水想定は妥当であることが確認された。

### ○浸水想定の結果、

①設計津波高(L1)は既存堤防高(4.5m)以下であった ⇒防潮堤等の新たなハード対策は不要

②最大津波高(L2)は湯梨浜町など5市町村で、平成23年度想定と比べ微増した

⇒避難計画の検証（見直し）が必要

※鳥取市から岩美町における近地津波の津波高は、一部の岩礁部を除き、全体的には低くなっている。

※岩美町では、近地津波、遠地津波ともに津波到達時間が早くなっているが、最大津波高が一部の岩礁部を除いて既存堤防高以下であるため、防災計画上一問題はない。

○宍道断層は横ずれ断層であり、海底の隆起により発生する津波の影響は小さいこと、また、水深が浅いことから、津波浸水想定を公表することを考えています。（各委員了承）

なお、中国電力が示す断層の諸元等をもとに、津波への影響が小さいことを確認し記録として残しておくこととする。（委員意見）

### ○今後の予定

・来年2月末開催予定の鳥取県地震防災調査研究委員会において、地震被害との整合等を確認した上で審議し、3月に津波浸水想定公表と国への報告を行う予定（津波法の手続）。

・平成30年度は、6月頃に社会資本整備審議会の意見を聴き（津波法の手続）、その後、津波災害警戒区域（イエローゾーン）等の指定などについて市町村と相談しながら進めていく。

※津波災害警戒区域等の指定は、住宅の開発や要配慮者施設の建築規制、避難計画の策定等、市町村のまちづくりに大きな影響を与えることから、関係市町村と連携しながら進めていく。

## 第5回津波想定部会

(1) 開催日時 平成29年12月25日（月）15時～17時

(2) 開催場所 県庁災害対策室

(3) 出席者 上記のとおり

(4) 経過

本県は、平成24年3月に県独自の津波浸水想定を公表済みであり、市町村は防災体制を整備済み。

今回の津波浸水想定の見直しは、県独自の佐渡島沖の断層モデルに平成26年に国が設定した断層モデル（F55鳥取沖、F17, 24, 28日本海東縁部）を加えて浸水想定を行うものであり、被害想定と同時公表が望ましいため、考え方の整理と妥当性を検証し今回審議していただいたもの。

(5) 概要

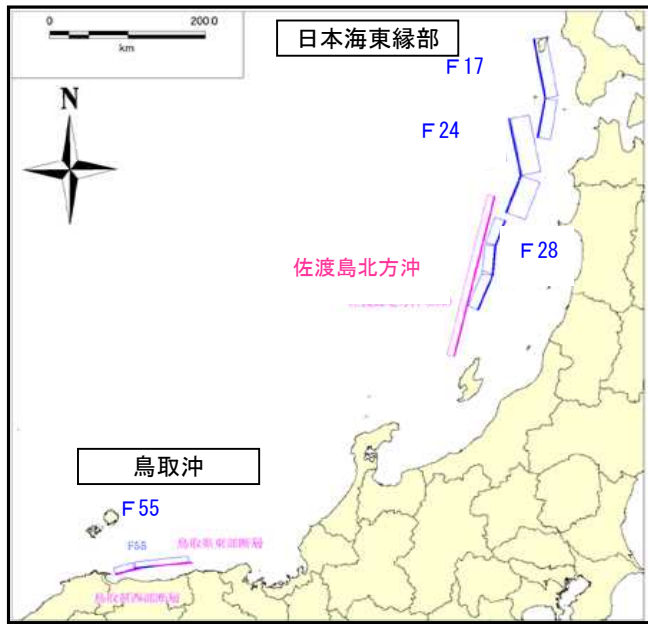
### 【議事概要】

① 津波浸水想定の実施について

・県設定断層モデルに国設定断層モデルを加えて浸水想定を実施した結果、津波浸水想定として公表内容に盛り込むべき事項などについて説明した。

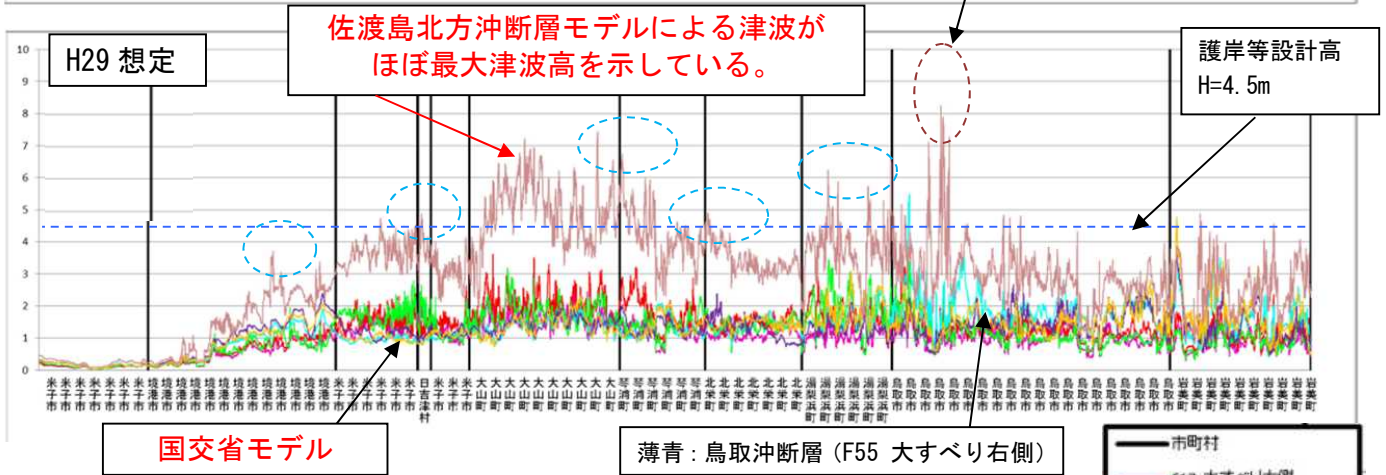
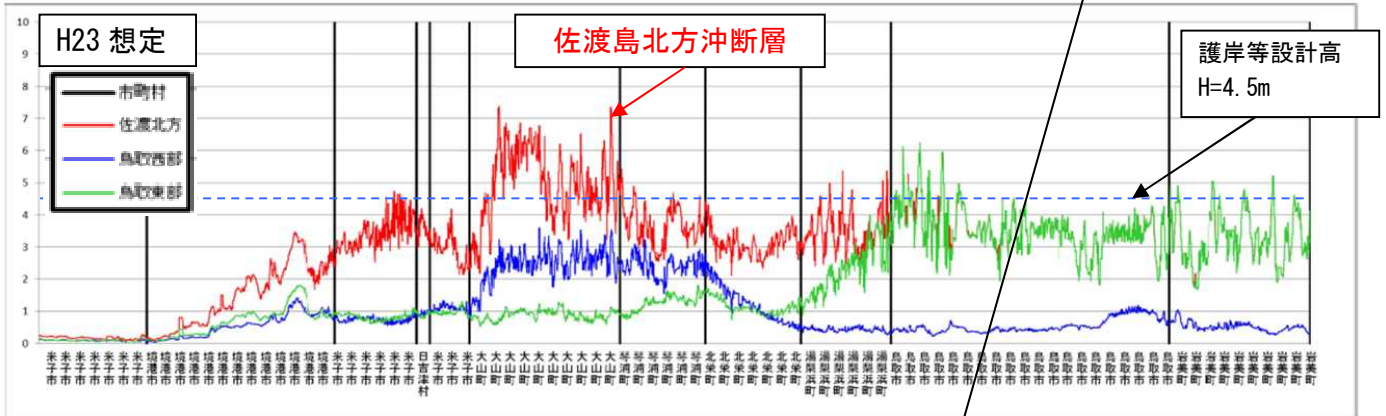
⇒ 了承

○県独自モデル（佐渡島北方沖）及び国モデルの位置



※鳥取市の一部岩礁部では、せり上がりにより局所的に高くなる箇所があるが住家等は無く防災体制上は問題ない。

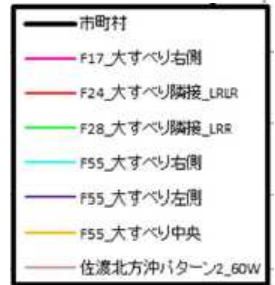
○平成 23 年度公表津波想定と今回想定との津波高比較



< 浸水想定区域図（シミュレーション結果）について >

市町村名	最大津波高(T. P. +m)		
	前回	今回	差
岩美町	5.2	4.9	-0.3
鳥取市	6.3	5.8	-0.5
湯梨浜町	5.6	6.6	1.0
北栄町	4.0	4.9	0.9
琴浦町	5.5	6.7	1.2
大山町	7.6	7.4	-0.2
米子市	4.7	4.7	0.0
日吉津村	4.0	4.9	0.9
境港市	3.2	3.7	0.5

< 浸水想定結果（最大津波高） >  
 ○最大津波高は、平成 23 年度想定と比べて湯梨浜町など 5 市町村で微増した。  
 ○ : 微増箇所



市町村名	津波到達時間			
	佐渡島北方沖断層		鳥取沖	
			鳥取沖東部 西部断層	F55
	前回(分)	今回(分)	前回(分)	今回(分)
岩美町	150	85	11	7
鳥取市	174	132	14	15
湯梨浜町	174	160	14	18
北栄町	201	162	13	19
琴浦町	167	166	13	19
大山町	166	166	10	14
米子市	205	175	20	29
日吉津村	204	182	22	61
境港市	194	183	37	43

<浸水想定結果（津波到達時間）>

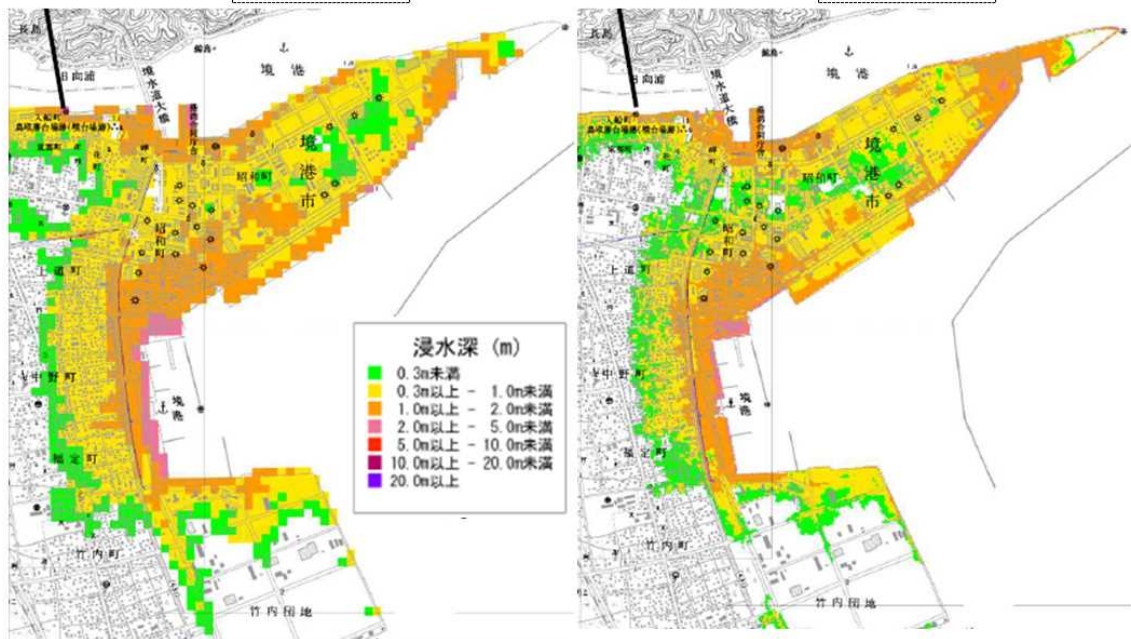
- 岩美町では、近地津波、遠地津波ともに津波到達時間が早くなっているが、最大津波高が既存堤防高以下であるため防災計画問題はない。
- 佐渡島北方沖断層による津波到達時間は、ほぼ全市町村で短くなっているが、約1.5時間以上あり、避難時間は確保できる。

○境港市付近 浸水想定区域図のH23想定と今回想定の比較

- ・浸水面積は、一部区域で増減があるものの概ね同程度の面積
- ・津波高さは高くなっている箇所もある
- ・地域として浸水区域が大きく変わらないため現行の防災体制が維持できる

H23想定

今回想定



② 津波浸水想定区域図の公表について

- ・鳥取県津波浸水想定区域図(案)及び解説書(案)について説明。 ⇒ 了承

③ 今後のスケジュールについて

- ・平成30年2月 鳥取県地震防災調査研究委員会開催予定 ⇒ 了承
- ・平成30年3月 地震津波浸水想定公表 ⇒ 了承

<委員からの主な意見>

- ・佐渡島北方沖断層のように津波高は大きい到達時間が長い津波と、鳥取沖断層（F55）のように津波高は小さい到達時間が短い津波を分けて住民へわかりやすく表記すべき。  
⇒ 提案のとおり津波高が大きい津波と到達時間が短い津波に分けて表記する。
- ・津波の発生から到達までをイメージできるようなアニメーションや参考図などを作成し、住民が理解しやすいようにすべき。  
⇒ 津波の発生唐到達までをイメージできるような参考図をつけるとともに、住民への説明用にアニメーションについても検討する。